

# 取組 [3] 女性研究者の積極採用と上位職登用

## 1 女性教員ポストアップ

広島大学は、社会的課題に挑戦する女性研究者、国際的に活躍する女性教員を育成することを目指し、第3期中期目標として、女性教員割合20%、女性管理職割合20%を掲げ、加えて、本事業において、女性上位職（教授・准教授）の割合を20%にすることを目標としている。2009（平成21）年から継続してきた女性教員ポストアップ制度を2019（令和元）年度から学内昇任制度の中に女性限定枠として設置。2020（令和2）年度は女性教員3名の昇任を決定した。

## 2 「女性限定」公募の実施

広島大学では、教員人事の全学一元管理の下、多様な人材確保への取り組みを配置の観点の一つとして捉え、「女性教員」枠を設ける等、戦略的に95ポストの措置を行った。また、教員採用におけるポジティブアクション（業績・評価が同等と認められた場合は女性を採用）の促進を2020（令和2）年度も継続して実施した。

## 3 デルタ工業株式会社 女性活躍推進研修

■日 時／2020（令和2）年10月16日（金）9：00～16：00

■場 所／オンライン社内研修

■参加者／女性4名

■研修のねらい／①未来の環境変化を見据え、自分たちのキャリアに与える影響を先読みすることを通じて、キャリアに対する健全な危機意識と未来に向けたモチベーションを醸成する  
②未来に求められる汎用能力（どこでも通用する能力）をベースに、環境変化を切り拓いていく「自分らしい強み」を発見する  
③未来の環境変化にぐらつくことのない、座標軸となる「自分らしいキャリア観」を発見する  
④自分が持ちうる可能性をすべて活かして、「自分らしい未来（キャリアビジョン）」を構想し、明日からの行動につなげる

■研修のコンテンツとスケジュール

9:00～

■スケジュール

研修のねらいと進め方  
自己紹介「私のキャリア」

■Session 1：人生遺産（Life Story）

～過去の人生物語を語り、自分らしさを再発見する～

「自分語り」を通じて得られた自分らしさへの気づきと、他者から得た自分らしさのメッセージを統合する。

※事前課題「人生の振り返りワークシート」は必須となります。

（休憩）

■Session 2：未来の環境変化（Changes）

～キャリアに影響を与える未来の環境変化を先読みする～

自動車業界を含めた外部環境の変化、自組織の変化、それらの変化による自分のキャリアへの影響を検討する

（休憩）

■Session 3：生産性資産（Productivity）

～環境変化を切り拓く「自分らしい強み」を発見する～

未来にも通用する汎用能力、専門能力を洗い出し、他者から得たアドバイスも参考にして、自分らしい強みを再発見する

～12:00

12:00～13:00

（昼休憩）

13:00～

（Session 3 続き）

■階層別 女性活躍推進研修 受講者

No.	本部	年齢	勤続
1	管理本部	36歳	6年
2	開発本部	36歳	15年
3	生産技術本部	35歳	14年
4	製造本部	48歳	27年

■Session 4 準規性資産（Value）

～環境変化にぐらつかない「自分らしい座標軸」（＝キャリア観）を発見する～

人生物語や、自分らしい強みなどを踏まえて、キャリアを切り拓く上で重視したいことをことばに置き換える

（休憩）

■Session 5 可能性資産（Possibility）【ビジョン編】

～自分の資産をすべて活かし、「自分らしい未来」（＝キャリアビジョン）を構想する～

ワーク、ラーニング、ライフという3つの観点で、自分の将来のキャリアビジョンを構想する

（休憩）

■Session 6 可能性資産（Possibility）【行動計画編】

～自分らしい未来を実現するための「行動計画」を考える～

キャリアビジョンを実現させるための、明日からの具体的な行動の計画を立案する

■まとめ

- 行動計画の相互発表・振り返り（キャリアビジョンと「はじめの一步」を相互発表する。）
- 研修のまとめ

～16:00

## 4

## 国際開発センター活動報告 研究員を対象とした社内オンライン技術研修及び社内勉強会

### 研究職員を対象とした社内オンライン技術研修：「プロジェクトで使える統計検定」

- 日 時／第一回 2020(令和2)年4月28日(火) 13:30～14:30  
第二回 2020(令和2)年6月10日(水) 13:30～14:30
- 場 所／オンライン社内研修(Zoom利用)
- 参 加 者／男性職員15名、女性職員20名(各回合計)
- 内 容／プロジェクト実施の事前と事後の変化の差を比較する有意差検定、2群の平均値差の検定(t検定)およびカイ二乗検定など、主要な統計検定の手法について研修を実施した。講師は社内の統計専門家が務めた。参加者は、研修資料に沿ってエクセルによる操作方法を習得し、プロジェクトにおける統計検定の活用事例についても共有した。研究職員にとって、実践に役立つ研修内容となっており好評を得た。また、初めての社内オンライン研修の開催であったが、スムーズに実施できた。

### 社内勉強会「案件形成とプロジェクトマネージャーの役割」

- 日 時／2020(令和2)年9月25日(金) 11:30～12:15
- 場 所／オンライン勉強会(Teams利用)
- 参 加 者／男性職員39名、女性職員30名(合計69名)
- 内 容／ウィズ/アフターコロナ下において、国際協力に取り組む研究職員の役割が変化していくことが予測される。こうした中、今後どのように案件形成を行い、どのような専門的知見を活かしていくかという点について、プロジェクトマネージャーを中心に、他の職員も一緒に話し合う勉強会を実施した。専門的知識に加えて、国や地域に対する知見も合わせて持つことが、強みのひとつになっていくのではないかと、ということが提案された。

### 職場におけるメンタルヘルスマネジメント【ラインケア研修】参加

- 日 時／2021(令和3)年2月19日(金) 10:00～12:00
- 場 所／社外オンライン研修(Zoom利用)
- 参 加 者／女性職員1名、他社6名
- 内 容／職場におけるメンタルヘルスの必要性・重要性について学び、メンタルヘルスの管理監督者の基本的な対応方法を習得するため、講義と事例研究およびグループワークを通して理解を深めた。部下や同僚の勤怠上の変化や様子の変化に気づき、声をかける⇒話を聴く⇒次の対応へつなげる、というステップが大事であること、また、それぞれのステップにおける注意事項、さらにリモートワーク環境下での目配りのポイント等についても理解を深めた。

## 5 男女共同参画セミナー

- 日 時／2021(令和3)年2月18日(木) 13:30～15:50
- 場 所／Zoomによるオンライン配信
- 講 師／上水流 久彦氏(県立広島大学地域基盤研究機構 教授)  
片元 彰氏(NPO法人ファザーリング・ジャパン中国 代表、時短家事コーディネーター)
- テ ー マ／ワークライフバランスを考える
- 参 加 者／49名
- 内 容／中国地方で男女共同参画に取り組んでいる二人の講師を招いてのオンラインセミナー。ワークライフバランスの意義やメリットについて理解を深め、参加者それぞれが働き方の見直しや働きやすい職場について考える契機となった。

広島大学 男女共同参画セミナー  
『ワークライフバランスを考える』

「ワークライフバランス」とは仕事と生活の両立を指すことができます。しかし、実際は一人ひとりの状況や仕事内容によって、仕事と生活の両立が難しい場合があります。本セミナーでは、仕事と生活の両立が難しいと感じている方に向けて、具体的な解決策やヒントを提供します。また、仕事と生活の両立が難しいと感じている方に向けて、具体的な解決策やヒントを提供します。

「職場環境調査から見えてきた共同参画の課題」  
県立広島大学地域基盤研究機構 教授 上水流 久彦

「父親を失くしてもファザーリングのすすめ」  
NPO法人ファザーリング・ジャパン中国 片元 彰

日 時：令和3年2月18日(木) 13:30～15:50  
開催方法：オンライン配信 (zoom)  
対 象：本学の教職員、大学院生、学部生、  
留学型ダイバーシティ推進協議会メンバー  
定 員：280名  
申込方法：web申込フォームより申し込み  
申込締切：令和3年2月4日(木)

## 参加者の声 (抜粋)

- 男性からの男女共同参画への意見を伺えたのはかなり興味深かった。
- 管理職だけでなく、従業員一人一人も、家事・育児の重要性を理解し、サポートしてこうという雰囲気・環境づくりをしていくことが必要だと感じた。
- 経験者としての父親目線からの話は男性側の立場や思いも理解することができた。



## 6 女性研究者とのオンライン交流会

### 独立行政法人 酒類総合研究所

- 日 時 / 2020 (令和2) 年12月23日 (水) 13:30 ~ 15:30
- 場 所 / オンライン (独立行政法人 酒類総合研究所 [広島県東広島市])
- 参 加 者 / 7名 (学生: 女性3名, 職員: 女性3名, 男性1名)
- 内 容 / 概要説明, 動画, 研究内容の講演, ディスカッション  
酒類総合研究所は、2名の女性研究員 (副部門長, 研究員) が参加され、研究実績等について説明していただいた。また、参加学生とディスカッションを行った。

主催: デイリーラボ・研究開発推進センター (事務局)  
広島大学グローバルキャリアデザインセンター

**参加費 無料**

### 女性研究者とのオンライン交流会 参加者募集!

(酒類総合研究所)

令和2(2020)年12月23日(水) 13:30~15:30

開催日: 13:30~ 研究所説明  
13:50~ 女性研究員から仕事内容の紹介  
14:30~ 女性研究者との交流会 等  
※タイムスケジュールは、変更の可能性がございます

募集定員: 25名 (希望者多数の場合、先着順とします)

募集対象: 女性の学部生、大学院生 (分野・学年は問いません)

開催方法: オンライン(Zoom)

① 申込締切 令和2(2020)年12月20日(日)

② 申込・参加方法 各のQRコードからお申し込みください。後日、申込書には参加の可否、参加方法を連絡いたします。

③ 交流会詳細 デイリーラボキャリアデザインセンターウェブサイトを確認ください。  
<https://www.dailylabo-u.ac.jp/gdc/yr/news/61828>

④ 問い合わせ先 広島大学 グローバルキャリアデザインセンター  
E-mail: gdc@dailylabo-u.ac.jp

## 参加者の声 (抜粋)

- 貴重なお話を伺うことができた。
- 身近なお酒の飲み合わせについて等お酒を買うときや飲むときにも役に立つと思った。
- 今研究している内容とは全く別な分野だったが、興味深く拝聴した。
- 私自身は子育てをしながら研究を続けたいと考えている。
- 女性研究者として公務員でなくても研究を長期的に続けられるような環境が社会全体で認められ、また増えると良いと思った。



### 大塚製薬株式会社

- 日 時 / 2021 (令和3) 年1月18日 (月) 15:00 ~ 17:00
- 場 所 / オンライン (大塚製薬株式会社 能力開発研究所 [徳島県徳島市])
- 参 加 者 / 22名 (学生: 女性16名, 職員: 女性4名, 男性2名)
- 内 容 / 概要説明, 動画, 研究内容の講演, ディスカッション  
大塚製薬からは、11名の方々に参加いただいた。そのうち女性研究員は9名が参加され、1名の方が研究実績等について説明していただいた。また、3グループに分かれて女性研究員9名が参加学生16名とディスカッションを行った。

主催: デイリーラボ・研究開発推進センター (事務局)  
広島大学グローバルキャリアデザインセンター

**参加費 無料**

### 女性研究者とのオンライン交流会 参加者募集!

(大塚製薬株式会社)

令和3(2021)年1月18日(月) 15:00~17:00

開催日: 15:00~ 参加者説明  
15:20~ 参加研究員からの自己紹介  
15:30~ 女性研究員の仕事内容紹介  
16:00~ 女性研究者との交流会 等  
※タイムスケジュールは、変更の可能性がございます

募集定員: 25名 (希望者多数の場合、先着順とします)

募集対象: 女性の学部生、大学院生 (分野・学年は問いません)

開催方法: オンライン(Zoom)

① 申込締切 令和3(2021)年1月13日(水)

② 申込・参加方法 各のQRコードからお申し込みください。後日、申込書には参加の可否、参加方法を連絡いたします。

③ 交流会詳細 デイリーラボキャリアデザインセンターウェブサイトを確認ください。  
<https://www.dailylabo-u.ac.jp/gdc/yr/news/61824>

④ 問い合わせ先 広島大学 グローバルキャリアデザインセンター  
E-mail: gdc@dailylabo-u.ac.jp



## 参加者の声(抜粋)

- 実際の研究者としての生活や仕事内容を知ることができ、将来のイメージが少しずつだが、形になった。
- 女性研究者のみと交流する機会がなかったため、有意義だった。人数も多かったため、様々な専門の方に話を聞いたのが良かった。
- 少人数のグループで質問するのが得意でない私でも質問することができたので良かった。貴重なお話でありがたかった。実際に見学も行ってみたいかった。
- 女性だからこそ直面する出産等の機会に対して、女性研究者としての意見が聞けたことが、自身の将来を考えると大変ありがたかった。
- 女性でも実際に社会で活躍されていることが分かり、あこがれた。かっこよかった。
- 企業研究者の方のお話を聞くのは初めてだったのでアカデミアではなく、企業を選んだ理由など貴重な意見を聞けて、有難かった。仕事の大変さや私生活のスケジュールなど、まさに気になるところだったので非常に有意義な内容だったと感じた。
- 研究内容が大学院時代と入社時、現在で変わった方もいらっしやった。就職活動のときに自分の研究テーマにこだわりすぎなくて良いことが分かった。
- 安全性部門の方々のお話は今の自分の研究内容に通ずるところがあり、参考になった。文献を読んだり、学会に出たりする大切さは会社に出ても同じなのだを知り、より一層頑張ろうと思った。
- 女性の研究者はそう多くない印象があったので、製薬会社でどのような働き方をしているのかをイメージすることができ、将来研究者として働きたいという思いが強くなった。
- とりあえず、まずは参加しようという軽い気持ちだったが、自身のキャリアの参考になるお話ばかりであった。実は学部生のころから気になっていた交流会だったので、参加できてよかった。コロナ禍の中で、オンライン開催をしていただき感謝している。



↑女性研究者とのグループディスカッションセッション



↑全体写真

## 7 女性キャリアスタート支援セミナー

- 日 時 / 2021(令和3)年2月26日(金) 14:00 ~ 15:30
- 場 所 / オンライン(Teams利用)
- 参 加 者 / 11名(学生:女性6名, 職員:女性3名・男性2名)
- 内 容 / 会社説明, 仕事内容の講演, グループディスカッション  
マツダからは, 3名(女性:技術職2名・人事1名)の方々に参加いただいた。冒頭, 会社概要を説明していただき, その後, 2名の女性技術者から現在取り組んでいる仕事のことやワークライフバランスをどのようにしているのか, 学生時代にやっておけばよかったこと等について説明があった。



↑女性技術者とのディスカッション

## 参加者の声(抜粋)

- 実際の社員のお話を伺うことで、仕事内容や社会人としての生活を、より現実感をもって理解できたと思う。
- 男性が多い職場で働くことに不安を感じているので、今回実際に育休を取得され復帰した方のお話が伺えてよかった。産休や育休を取ることに理解があるという点も、就職活動で企業選びをするうえで意識したいと思う。
- マツダで実際に働いている方々のお話を聞くことができたので良かった。これから進路を決めていくうえで、選択の幅を広げて考えていこうと思う。

## 8 女性高校生対象の体験科学講座

- 日 時／2020(令和2)年11月28日(土) 13:15～17:00
- 場 所／東広島キャンパス 東図書館
- 講 師／広島大学情報科学部の教員3名
- 参 加 者／30名
- 内 容／女性高校生に、科学を身近に感じてもらうための体験型講座を実施した。20回目の今回は、情報科学がテーマ。全員が受講するコアコース後、2つのサブコースに分かれ、タブレットやパソコンを使った実習を行った。実習後の学生との懇談では、進路選択や大学生活などについて質疑応答しながら交流を深めた。
  - コアコース：情報科学とデータ科学
  - サブコース1：情報科学的に学ぶ～情報の構造を作ってみよう
  - サブコース2：アンケートを統計的に考えてみよう

**第20回 情報科学部**  
～実習内容～

コアコースは全員で受講し、サブコースはどちらかのコースに分かれて講義・実習を行います。

**コアコース：情報科学とデータ科学**  
(時間：13時30分～13時50分)

ビッグデータをうまく扱うため、ここでは情報科学とデータ科学について講義を説明します。

【担当教員】  
佐竹 博康



**サブコース1  
情報科学的に学ぶ**  
～情報の構造を作ってみよう  
(時間：14時～14時15分)

みなさんは、何かを学ぶと先にどのようなことを覚えていきましたか？このサブコースでは、情報科学の基礎から情報を情報の構造として考えることを、学部工学部で開発しているアプリを制作したり、その前後にある仕組みを考えたりしながら体験します。

【担当教員】  
林 健介



**サブコース2  
アンケートを統計的に考えてみよう**  
(時間：14時～14時15分)

一部分だけを調査して全体の様子や予想するアンケートについて、どれくらい正確で予想できるものなのかについて考えます。また、アンケートの分析についても、統計、グラフ作成、比較の手段、グループ間の比較の検証なども実際にやってみましょう。

【担当教員】  
藤村 孝博



※本コースではパソコンを使用します。本学でも用意していますが、持参いただいた方も構いません。授業準備は、Excelが利用可能です。Wi-Fiによるインターネット接続可能なパソコンを推奨いたします。



↑コアコース



↑サブコース1



↑サブコース2

### 参加者の声(抜粋)

- 情報科学で学べる分野を知ることができ、進路決定の参考になった。
- 情報科学について知らない部分が多かったので、たくさん知ることができて良かった。文系からでも理系からでも入れるので、将来のことを考えながら、情報科学部も視野に入れようと思った。
- 実際に大学の先生や大学生の方から話を聞いて、自分の将来について考えることができた。
- プログラミングにもともと興味があったが、データの統計もおもしろいと思った。



↑アプリを操作しながら情報構造を学ぶ



↑学生との懇談の様子

## 9 長期インターンシップ

所属	派遣先	実施期間
広島大学大学院文学研究科 D2	国内(公益財団法人)公益財団法人 平山郁夫美術館	2020/8/21～2020/9/29

### 参加者の声(抜粋)

- 展覧会を企画する時のストーリーの作り方、資料の取り扱い方、宣伝方法、面白い展覧会のポイント、注意すべき点などについて、学びたいと思い参加した。
- 学芸員の授業で勉強した内容を、美術館で実践してもう一度確認することができた。